

## 普及活動情勢報告（令和7年11月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

### 急傾斜園地でドローンを活用した運搬実証 ～JA高知県西土佐クリ部会～



10月29日、四万十市西土佐の急傾斜栗園で、ドローンによるクリ運搬試験を行い、生産者1名、関係機関6名が参加しました。生産者からは、「家族3人で半日かかっていた防除を請負業者に委託し、夏場の重労働から解放された」「クリ以外にも肥料の運搬はできないか？」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、果樹でのドローン活用を推進しており、今回の運搬実証を支援しました。

今後は、関係機関とともに、実証内容を検証し農業用ドローンをはじめとする省力化技術の普及・推進を支援していきます。

### 産地計画を作って果樹を振興するぞ！ ～直七振興協議会～



10月31日、JA高知県宿毛支所で直七（田熊すだち）振興協議会の生産者2名、関係機関4名が参加し、産地計画の作成に向けた協議を行いました。この産地計画は、直七の生産拡大や所得向上を目的に協議会が作成、自ら実行していくもので、令和7年の夏から計画作成に取り組んでいます。

農業改良普及課は、生産者から10年後の栽培面積や収穫量、それを実現させる取り組みについて聞き取りを行いました。

生産者からは、「ドローンを導入したい」「面積・収穫量を増やすために担い手を確保したい」などの意見がありました。

農業改良普及課は、今後も産地計画の作成支援を行い、令和7年度末までの完成を目指していきます。

### ピーマンの病害虫に気をつけましょう！ ～ピーマン目慣らし会～



11月6日、JA高知県中村集出荷場で中村・大方ピーマン部会の目慣らし会が開催され、部会員9名、農業大学の研修生1名が参加しました。

農業改良普及課からは、定植初期にウイルス由来とみられる病害株が例年よりも多く確認されたことから、周知を行いました。また、管内で毎年発生が確認される黒枯病・斑点病の原因と対策について説明しました。

生産者からは、「ウイルス性の病気に対する対策は株の抜き取り以外に方法はあるか？」「病害の防除は展着剤を用いたら効果が高まるか？」等の質問がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関とともに、ピーマンの安定生産に向けて支援していきます。

シシトウの出荷規格変更へ動きます！ ～幡多地区シシトウ袋詰め説明会～



11月7日、J A高知県幡多地区本部で各地区シシトウ生産者の代表12名、J A販売担当者及び関係機関18名が参加し、袋詰め規格変更に関する今後のスケジュール等の説明会が開催されました。

農業改良普及課からは、規格変更にかかる栽培管理技術の課題と必要な技術について、情報提供しました。

生産者からは、「販売価格の維持に努めてほしい」「規格については、今後も検討が必要」との意見があり、袋詰め出荷については了承されました。

農業改良普及課は、今後もシシトウ産地の維持・発展に向けた支援をしていきます。

集落営農法人の後継者確保に向けて！ ～（農）ふぁー夢宗呂川地区交流会～



11月8日、土佐清水市宗呂川のほ場で（農）ふぁー夢宗呂川主催の地区交流会が開催され、地域住民8名、（農）ふぁー夢宗呂川8名、関係機関4名が参加しました。この交流会は、（農）ふぁー夢宗呂川が組織の後継者確保に向けて、組織の活動を知ってもらうために実施したもので、当日は組織が管理するほ場でブロッコリーの定植体験を行いました。また、定植後は組織の倉庫でBBQを行い、歓談しました。

農業改良普及課からは、参加者へ定植方法の説明などを行いました。

参加者からは、「組織があることは知っていたが、今回参加したことで活動内容も知ることができた」との声がありました。

農業改良普及課は、今後も集落営農法人の後継者確保に向けて支援を行っていきます。

四万十市の集落営農の取組を紹介しました ～奈半利町視察受け入れ～



11月13日、奈半利町の生産者やJ A、役場等の関係者計13名が四万十市の集落営農法人の視察に来ました。

農業改良普及課からは、幡多管内の集落営農の概要について説明した後、現地で（農）田野川甲営農組合と（農）四万十利岡 FARM から取組の紹介がありました。

参加者からは、「法人化のメリットは？」「地代はどのように支払っているか？」等、法人の経営の詳細に関する質問が多くあり、有意義な意見交換を行うことができました。

農業改良普及課は、今後も集落営農の推進に向けて取り組んでいきます。